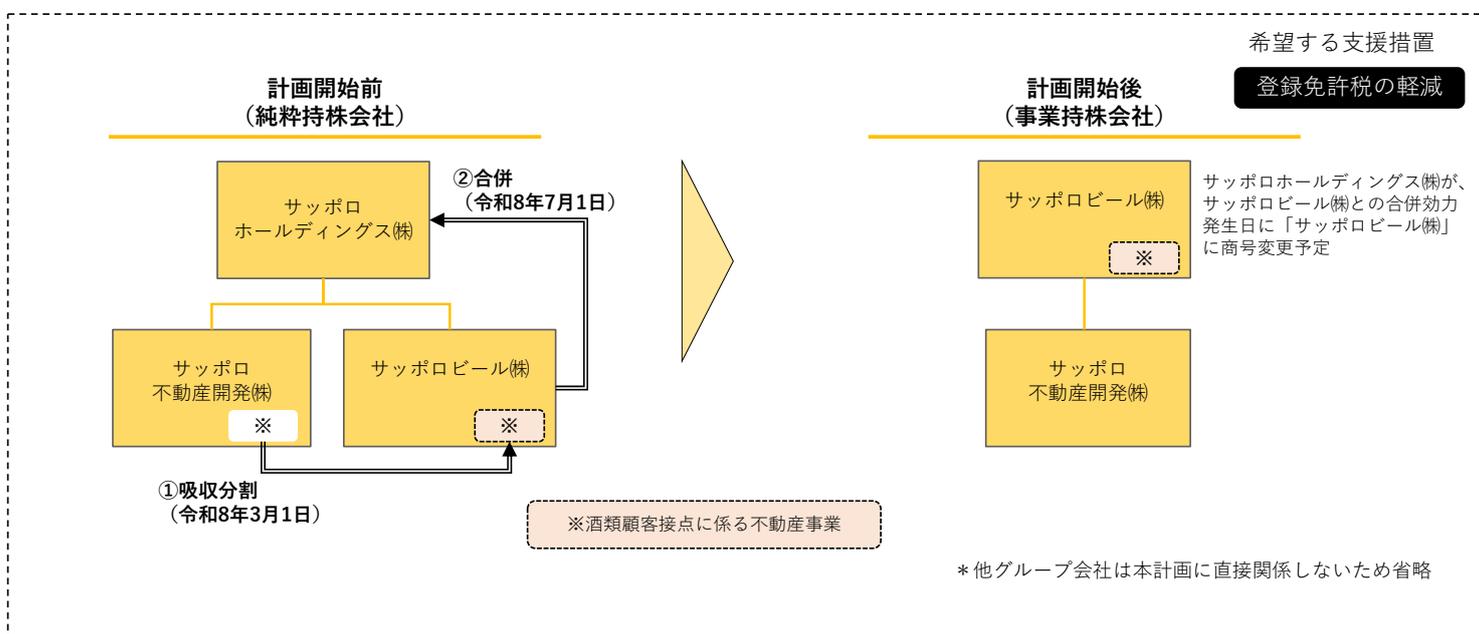


サッポロホールディングス株式会社の「事業再編計画」のポイント

サッポロホールディングスを親会社とするサッポログループは、令和8年3月1日に傘下のサッポロ不動産開発株式会社の一部事業である酒類顧客接点に係る不動産事業をサッポロビール株式会社に吸収分割し、令和8年7月1日にサッポロホールディングス株式会社がサッポロビールを吸収合併する。

この再編により、サッポログループは、サッポロホールディングス株式会社（注：サッポロビール株式会社に商号変更予定）を事業持株会社とする体制へと移行し、分散している酒類に係る事業を統合することで、グループ一体経営による経営効率の向上と事業成長の加速を目指す。



【生産性の向上】

- ・従業員1人あたり付加価値額を18.58%向上させる

【財務健全性】

- ・有利子負債／キャッシュフロー ▲13.1倍
- ・経常収支比率 109.7%

【前向きな取組】

- ・令和9年の新商品の売上高を合併後のサッポロビール株式会社の全売上高の1.2%とすることを目標とする。

【計画の実施期間】

- ・令和8年3月～令和9年12月